

2021.12.12
日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成
令和3年度 第2回オンライン研究発表会

『どうなんむぬい辞典』に見られる 現在の与那国方言の諸特徴

中澤 光平
(東京大学)
kohein@l.u-tokyo.ac.jp

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

1

0. はじめに

- 本発表では、現在の与那国方言の特徴について、『どうなんむぬい辞典』の例文をもとにまとめる。
- 具体的には、次の点を中心に考察する。
 - 「どう」の非焦点マーカ―化
 - 「てい」の非継起接辞化
 - 係り結びと無関係な連体形の終止用法

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

2

1. 与那国島および与那国方言

- 与那国島について
 - 沖縄県八重山郡に属し、八重山列島を構成。
 - 沖縄本島から南西へ約509km。石垣島からも約127km隔たっている。
 - 日本最西端で、台湾との距離は約111km。
 - 与那国町は与那国島の一島からなり、祖納、比川、久部良の3集落。面積28.96km²。人口1669人。(令和3年10月現在)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

3

1. 与那国島および与那国方言(2)

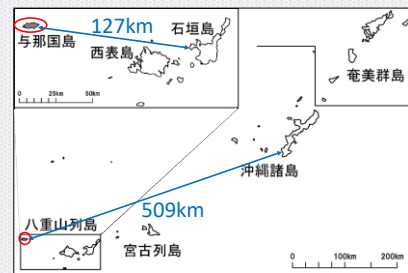


図1 与那国島の地理的位置
(<http://www.freemap.jp/item/okinawa/okinawa2.html>をもとに作成)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

4

1. 与那国島および与那国方言(3)

- 与那国方言について
 - 与那国島の60代以上の高年層で話される。
 - 久部良で沖縄本島の影響が強いことを除けば、集落間の方言差はほぼない。
 - /a/, /i/, /u/;
 - /p/, /b/, /m/, /t/, /T/ [tʰ], /d/, /n/, /r/, /C/[tʰʰ], /s/, /k/, /K/ [kʰ], /g/, /ŋ/, /h/; /j/, /w/; /N/ (撥音)の音素を有する。
 - A型, B型, C型の三型アクセント(上野2010a)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

5

2. 現代与那国方言に見られる変化

- 与那国方言も変化している
 - (1) a. Cwa > Ca (合拗音の直音化)
例: kwaCi ~ kaCi「菓子」(cf. 池間2003: 58, 78),
dwai ~ dai「祝い」, twaN ~ taN「遠い」
 - b. C型の...F > ...H(上野2010b)
例: ka[Tana]] > ka[Tana]「刀」(〔は上昇, 〕は下降)
 - c. 可能接辞否定形の-ninu- > -rinu-
例: KaTiraninuN > KaTirarinuN「捨てられない」

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

6

2. 現代与那国方言に見られる変化(2)

- その他の変化の例

(2) a. /Ng/ [ŋg] > [ŋ] ~ [ŋ]

例: aNguN ~ aŋguN「煮る」,
aNga ~ aŋga「あるの？」(cf. 伊豆山2002)

b. s語幹動詞の連用形の-si > i

例: buNKasi KaTiri ~ buNKi KaTiri「放っておけ」

c. 完了接辞の-uN > -aN

例: baCuN ~ baCaN「忘れた」

2. 現代与那国方言に見られる変化(3)

- 従来の記述とは必ずしも合わない特徴
- 他にどのような変化が見られるか

『どうなんむぬい辞典』の例文をもとに考察

3. 『どうなんむぬい辞典』

- 「与那国方言保存継承支援事業」の一環として、与那国方言(どうなんむぬい)を辞典にまとめたもの。
- 初版(旧版): 2019年3月発行。1770項目。
- 改訂版(第2版): 2021年3月発行。1925項目。



3. 『どうなんむぬい辞典』(2)

- 方言辞典編集委員会にて、複数の母語話者によって意味や例文を検討。



3. 『どうなんむぬい辞典』(3)

- 改訂版(第2版)の例文をもとに、現在の与那国方言に見られる変化を考察
- 辞典では、与那国方言を次のように表記
 - 語頭の喉頭化音: 前に「'」をつける
 - 鼻濁音: 「が, ぎ, ぐ」のように表す
 - 文節: スペースで分かち書きする
 - 形式名詞・補助動詞: 前に「=」を付ける (接語境界ではない)

4. 『どうなんむぬい辞典』に見られる変化

- 以下の内容を主に扱う。

- (3) a. duの非焦点マーカ一化
b. Tiの非継起化
c. 係り結びと無関係な連体形

4.1 duの非焦点マーカ―化

- 焦点マーカ―du(およびその同源の形式)は琉球諸語に広く見られる。
- 与那国方言にもduがあり、一般に焦点マーカ―(焦点標識)と記述される(山田他2013)。
- 情報構造では、文は前提(presupposition)と焦点(focus)とにわかれる(日本語文法学会編2014: 307)。
- duは基本的に焦点(≒新情報)を表すが、とりたて(≒対比)は関係しない場合もある(林2020)。

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

13

4.1 duの非焦点マーカ―化(2)

- 焦点(≒新情報)の機能を考えれば、duは1つの文に基本的に1つしか出ないはず。
- 複文や、節内に焦点がある場合は、焦点マーカ―が複数出る可能性も。
- 与那国方言では、duが比較的自由に現れるように見える。

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

14

4.1 duの非焦点マーカ―化(3)

- 複文でduが複数現れる例

- (4) a. いやか **あぶたがどう** でいや どうでいある=ゆんがら **あぶたがどう** いじやいかてやる<お父さんより**お母さんが**字は上手だから、**お母さんが**手紙を書いた>(p.105)
- b. **すがていどう** ありや むてい **‘くいどう** きらりる<**正月**だから餅を**作らない**といけないな>(p.313)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

15

4.1 duの非焦点マーカ―化(4)

- 複文でduが複数現れる例

- (4) c. んぬがら れいぞーこんき ビール **いりどう** ありや、ない=でいぶんや **ひちんたいどう**=ぶる=はでいく昨日から冷蔵庫にビールを**入れて**あるから、今頃は**冷えて**いるだろう>(p.228)
- d. **ついまいどう** ある=ゆんがら **‘たがんきどう** んなりる<**一つ違いの子**だから**双子のよう**にみえる>(p.320)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

16

4.1 duの非焦点マーカ―化(5)

- 節内にもduが現れる例

- (5) a. うぬとうや **だーさばたんきどう** さぎ んみ=ぶる=ゆんがら**どう**、うんに びー=ぶる<この人は**空腹**で酒を飲んだ**ので**、このように酔っている>(p.274)
- b. うんに まんすや **たんしどう** **だていびどう** まーるていら<こんなにおいしいのは**木炭**で**焼いた**のでおいしいのだろう>(p.170)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

17

4.1 duの非焦点マーカ―化(6)

- 節内にもduが現れる例

- (5) c. **だみどう** むてい=ぶる=ゆんがら**どう** すてい してい=ぶる=はでいく**病**気を持って**いるから**咳き込んで**いる**のだろう>(p.176)
- d. かゆていや あらーぐ ぐまびてい **‘たー** ちむぬやとう **かゆいどう** **ないびどう** うんにぬ なー **‘かつたるん**でいんどうんさい<「かゆてい」はあまりに小さくて、何回も台所に**通わなければ** **いけなかつた**ので、**そんな名**が**ついたら**しいよ>(p.116)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

18

4.1 duの非焦点マーカ―化(7)

- 節内にもduが現れる例

- (5) e. **すぐてい**どう どうみ=**ぶたが**どう あたに
んでい きー ‘たー にんでい**本**を**読ん**
でいたのに、うたた寝してそのまま寝てしまっ
た) (p.49)
- f. **んだが** **んどんすに**どう **あい**どう **ぶ**
が かりや **んどう=**くどう ‘かぬんすや
く君の**言う通りである**の**んだが**、彼は言うことを
聞かないのだ) (p.63)

中澤光平『どなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

19

4.1 duの非焦点マーカ―化(8)

- duがこのように1文中に複数個出るのは、焦点マーカ―としての機能が弱まったためか。
- それを補うためか、**ba**が焦点マーカ―として機能しているように見える。

中澤光平『どなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

20

4.1 duの非焦点マーカ―化(9)

- 焦点マーカ―(?)のba

- (6) a. **あし**ぶ**ば** うんに **ぶん**ぎみてい ‘かつ
てい=うとうてい あんすや**おでき**をこんな
に膿ませて放っておいてあるとは) (p.289)
- b. うや **んでい**が**ば** いていん まちか
や?〈それは**どちらが**一番良いだろうか〉
(p.330)
- c. うらぶだぎとう くぶらだき ^{ママ}みだが きる
ば **ぬ**が**ば** たがが?〈宇良部岳と久部良
岳と比べてみると**どちらが**高いか?〉 (p.303)

中澤光平『どなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

21

4.1 duの非焦点マーカ―化(10)

- baはduと異なり、主にWH焦点を表すか。

- (7) a. **ぬー** **すむ**てい**ば** どうむかや? **う**が
どう うむつつあんぎさる**くど**の本を**読**もう
かな? **こっ**ちが面白そうだ) (p.93)
- b. 「**ぬ**ば うやし=わるが? さー うやし=
わるな?」「**さー**どう **ぬ**み=**ぶ**さる」
〈「**何**を召し上がりますか?お茶を召し上がり
ますか?」「**お茶**が飲みたいです」〉 (p.95)

中澤光平『どなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

22

4.2 Tiの非継起接辞化

- 継起接辞「てい」(およびその同源の形式)は南琉球諸語に広く見られる。
- 与那国方言にもTiがあり、継起を表すとされる(山田他2013: 302)。
- 継起とは、動作が続けて起こることで、日本語ではテ形で表される(日本語文法学会編2014: 307)。
- しかし、与那国方言のTiには継起ではないと思われる例が見られる。

中澤光平『どなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

23

4.2 Tiの非継起接辞化(2)

- 付帯状況(～ながら)にあたる例

- (8) a. ‘たら **う**す**び**てい あいていがしや ひん
すむぬんでい **んだ**りるんどー**く下**を**向**
て歩いたら貧乏人と言われるよ) (p.177)
- b. ‘とうぬ まいばらに また **はい**てい **ん**
とうい=**ぶ**んすや うぬ きならぬ=**む**ぬ
〈人の前で**股**を**張**って**座**っているとは、この役
立たず) (p.205)
- c. ていー **う**いが**し**てい **う**んどー **き**ー=**わ**
り〈**手**を**動**か**し**て**運**動**し**ま**し**よう) (p.79)

中澤光平『どなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

24

4.2 Tiの非継起接辞化(3)

- 付帯状況(同時)は通常daTanaで表される(cf. 山田ほか2013: 302)。

- (9) a. はなぶてい きーだたな にんでい=ぶん
すやーくいびきをかいて眠っている(p.229)
- b. どうぐたい きーだたな テレビ んに=
ぶんすやく横になりながらテレビを観ている
ね(p.327)
- c. ぬみだたな はなし きるいく飲みながら、
話しましょう(p.229)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

25

4.2 Tiの非継起接辞化(4)

- 継起か怪しい例(手段など)

- (10) a. いさぬ つりや あたらきてい ぬみよ
〈医者(の処方した)薬は大事に飲みなさいよ〉
(p.195)
- b. くちさぬ なぎん あいてい うたや たの
しみどう あたるく苦しさの中にあって歌は楽
しみであった(p.83)
- c. ちむぬやや だーとう びつきてい ‘くい
=ぶたる【・・・】〈台所は母屋とくっつけて造っ
た【・・・】〉(p.187,188)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

26

4.2 Tiの非継起接辞化(5)

- 継起か怪しい例(手段など)

- (10) d. むす んむ=ばすや うい ‘たら いた
でいていどう んみ=ひるどくごを編むとき
は上、下、と交差して編んでいくんだよ
(p.69)
- e. んかち みぬがや うんてい みんぶる
んき かみていどう くやし=ぶたる(昔、女
は芋を頭に載せて運んでいた)(p.115)
- f. くるまんき ぬいてい くぶらんき ひるん
〈車に乗って久部良まで行く〉(p.196)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

27

4.2 Tiの非継起接辞化(6)

- 理由

- (11) a. どうさいや うぶたくゆ あいてい あが
い つま ないく今夜は満月で真昼のように明
るい(p.44)
- b. うちぬ つーや だんだん ないてい か
がむていにどう ぶるく牛の糞は段々に
重なって鏡餅みたい(p.193)
- c. くぬ だまや だんでいてい ういがぬん
〈この機械は壊れて動かない〉(p.79)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

28

4.2 Tiの非継起接辞化(7)

- 理由

- (11) d. すーや いー わしき ないてい んさた
んがえく今日(は)いい天気(にな)ってよかつたね
(p.100)
- e. まーてい あいすん あいてい ひらい
だつつあんくとても愛想もあつて付き合いやす
い(p.271)
- f. にぐら きてい んば つーみどう=ぶる
〈怖がつて唇が白くなっている〉(p.337)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

29

4.2 Tiの非継起接辞化(8)

- 条件(〜と)

- (12) a. あーさや はいりし むんない きてい
あらぐ まんくアオサは酢で和え物にすると
とてもおいしい(p.46)
- b. くぬ うぶにや んぶしてい まーんどく
この大根は煮物にするとおいしいよ(p.91)
- c. うちぬ ‘くー わーぬ ‘くー ちゃんぶ
るー きてい まーんどく牛の肺、豚の肺は
炒め物にするとおいしいよ(p.130)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

30

4.2 Tiの非継起接辞化(9)

- 形容詞のbiTiは固定化していると思われる。

- (12) a. うぬ あみていや **うさびてい** あいがに
ぬん<この道は悪くて歩けない>(p.82)
- b. うとが^か **ぐまびてい** ‘かにぬん<音が小さくて聞こえない>(p.86)
- c. はなし **うむつあびてい** ていんだ うつ
てい ばらたん<話が面白くて掌を打って笑った>(p.202)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

31

4.2 Tiの非継起接辞化(10)

- 形容詞のbiTiは固定化していると思われる。

- (12) d. どうち **うぶさびてい** ‘とうびらい きるん
でい でやでいく友達が多すぎて交際する
のが大変だ>(p.203)
- e. あらぐ **ばがさびてい** ぬだ うとうし ば
らいんでや<とてもおかしくて涙を落として笑
ったよ>(p.250)
- f. くぬ うぶにや **まいさびてい** はいぐりさ
ん<この大根は大きすぎて食べにくい>(p.259)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

32

4.2 Tiの非継起接辞化(11)

- 継起の明示にはTigaraが用いられる。

- (13) a. かぬ きないや どうみ **すいていがら**、
さがいはんどう きー=ぶんすやくあの家
は嫁が来てから、繁盛しているね>(p.146)
- b. ちでい **ぬいていがら** どうぐいんだぎ
<頂上に登ったら休もう>(p.184)
- c. **どうらしていがら** どう ‘かい まちえ
<ふるっててから使ったほうがいい>(p.222)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

33

4.2 Tiの非継起接辞化(12)

- 中止形(Tiがない形)もほぼ同じ機能がある。

- (14) a. うぶ-か^{ママ}でい **ていばらい** きぬない
すーすどう あいち<台風が吹き荒れ木の実
が呆れるほど落ちている>(p.124)
- b. いらに **いらり** なんぬ いらぐ いらりや
る どうぐるんき びきくクラゲに刺されたの
でナスの液をさされた部分に付けた【・・・】
(p.193)
- c. くぬ さぎや **あまり** まーんすやくこの酒
は熟成しておいしいね>(p.58)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

34

4.2 Tiの非継起接辞化(13)

- そのためか、Tiの拡張らしき例も見られる。

- (15) a. わぬ=かん **ないてい** ぶんすや。はやぐ
みん **あみてい** **こー** 汚くなっているな。早
く水浴びしてきなさい>(p.323)
- b. **あんびてい**=ばがいどう ぶる<毎日遊んで
ばかりいる>(p.249)

- (15)はTiのないnai buN, aNbi buNなどが普通

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

35

4.2 Tiの非継起接辞化(14)

- ~hiruN「行く」、~kuN「来る」ではTiが付くことも。

- (16) a. あがみんた まどうん **すいてい**=ひらぬ
とう ならぬんでや<子供たちと一緒に連れ
ていけないといけないんだよ>(p.297)
- b. つまどうぎ=でいぶんき なん=がら **はい
てい**=ひり<昼食時になったから食べていきな
さい>(p.194)
- c. かりや びーてい ばや **まんぎらして
ひゆん**さい<彼は酔って我が家でわめき散ら
していったよ>(p.299)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

36

4.2 Tiの非継起接辞化(15)

- ~hiruN「行く」、~kuN「来る」ではTiが付くことも。

- (16) d. んに あが んだしてい こー<舟の底にたまっている汚水を出してきなさい>(p.42)
- e. からん ちみてい=くたよく散髪してくるよ<(p.118)>
- f. ちら あらいてい くー<顔を洗ってきなさい>(p.188)
- g. どうふる はいてい くー<お風呂に入ってください>(p.218)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

37

4.3 係り結びと無関係な連体形

- 与那国方言には、古語や他の琉球諸語と同じく、焦点助詞との係り結びがあるとされる(山田ほか2013: 317)。
- 焦点助詞duが主文中にある場合、文の主述語が連体形(否定の述語の場合は特別な係り結び形。山田ほか2013: 318)を取る。
- ところが、焦点助詞がないにも関わらず、主節の述語が連体形になる例が多く見られる。

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

38

4.3 係り結びと無関係な連体形(2)

- duがないのに連体形になる例

- (17) a. あー ちんや まいぬいーとう まんでいてい はい=ぶたる<粟、モチキビは米の飯と混ぜて食べていた>(p.40)
- b. まいさる ていむぬや ぶぬし あがし ばい=ぶたる<大きな薪は斧を使って裂き割っていた>(p.200)
- c. いくつあぬ ばすや がまんき ひなん きー=ぶたる<戦争の時は洞穴に避難していたんだよ>(p.114)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

39

4.3 係り結びと無関係な連体形(3)

- duがないのに連体形になる例

- (17) d. かりが ぐた まてい=ぶる<彼が来るまで待っている>(p.163)
- e. あがみぬ=くとうし みんなぶる だまし=ぶる<子供のことで頭を痛めている>(p.176)
- f. まちり ちまし とうぐとう きー=ぶる<マチリも済ませて落ち着いているよ>(p.209)
- g. とうないぬ いやていや びーてい あいてい=わる<隣のおじさんが酔っ払って歩いている【ママ】>(p.40)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

40

4.3 係り結びと無関係な連体形(4)

- duがないのに連体形になる例

- (17) h. あぶや あらみでいぬ にかい きー=わる<おばあさんは新水の日の祈願をなさっています>(p.57)
- i. あぬや はたぎしかま きてい=する<私は畑仕事をしてきた>(p.55)
- j. あがとうぶぎに うぎてい とうんでい=ひゆる<早朝に起きて出ていった>(p.43)
- k. ぐさん ‘ていーてい あんびてい あいぐ<杖をついて遊んできた>(p.130)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

41

4.3 係り結びと無関係な連体形(5)

- duがないのに連体形になる例

- (17) l. あぶや ぐにんまいに まいする<おばあさんは五年前に亡くなっているんだ>(p.292)
- m. あんぶく はぐた しかま きたんていん まいぬび きらぬ<泡を吐くまで働いても仕事に前に入らない>(p.65)
- n. くぬ あがみや かでいんでい うむい=ぶりや、かでいや あらぬ<この子供は風邪だと思っていたら、風邪ではない>(p.110)

中澤光平『どなん心ぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

42

4.3 係り結びと無関係な連体形(6)

- 反対に, duがあるのに連体形(係り結び形)にならない例もあるが多くない。
- suが後続する場合など, 形態的に連体形にならない例ではduがあっても述語の形は変わらない。

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

43

4.3 係り結びと無関係な連体形(7)

- suが後続する例

- (18) a. んだ うちや がば むいどう=ぶんす。
みん あんしみりよくあなたの牛は垢が生えているようだよ。水を浴びせなさい) (p.113)
- b. んだ くまたや うま=くたどう あんす。したた ちまいよくあなたの担当分はここまでだよ。さっさと終えてね) (p.131)
- c. ださい んぶまいどう ぶんす。したた はぬと【ママ】野菜がしなびているよ。早く食べないと) (p.339)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

44

4.3 係り結びと無関係な連体形(8)

- sujaが後続する例

- (19) a. んだ あや かてい どうーでいどう あんすや<あなた、絵を描くのが上手だね> (p.60)
- b. うんに はやぐがら つあぎ むい うい^{ママ}とうにどう ない=ぶんすや<こんなに早くから白髪が生えて年寄りのようになってしまった> (p.192)
- c. つり=うゆびどう だまし=みぬんすや<薬指を痛めているんだよ> (p.195)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

45

4.3 係り結びと無関係な連体形(9)

- saiが後続する例

- (20) a. んだ=はたぎや くまたでいどう=ぶんさい<お前の畑はとても小さいじゃないか> (p.137)
- b. うぬ きだきや ばー だまぬ きーかや 'くわどう あんさい<このリュウキュウコクタンは、私の森林の木よりは低いね> (p.141)
- c. かぬとうや むらはでいちぬ 'とうどう あんさい<あの人は村はずれに住んでいるんだ> (p.316)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

46

4.3 係り結びと無関係な連体形(10)

- duがあっても連体形を取らない例

- (21) a. ティンダバナんでい あんさい。うまぬ いりばたにどう ウティイチんでい んどうんすや あん<ティンダバナってあるだろ。そこの西にウティイチというのはある> (p.86)
- b. あぶた あばていどう ぶたんど。かぎらい きんに<お母さんは慌てていらしたよ。ひと走りして> (p.104)
- cf. くに すたんすや どうちどう あたると<このあいだ来たのは友達だったよ> (p.134)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

47

4.4 その他の変化例

- (1), (2)の変化も例文でいくつか確認できる。

- (22) a. みやーる=ぶんがら したたんでい とうばらりぬん<遠いからすぐに会えない> (p.306)
- b. ぬぬ むていなし きらりぬ<何のもてなし(も)できない> (p.313)
- c. いーっ。うぬ あがみてい こー はんたぬみがら かぎらい ひるんすやー。うどうぶさんどー<あーっ、この子は崖っぷちを走ったりして。あぶないよ> (p.67)

中澤光平『どうなんむい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

48

5. 考察

- 4節のそれぞれの変化について考察する。
 - duの非焦点マーカー化
 - Tiの非継起化
 - 係り結びと無関係な連体形

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

49

5.1 duの変化の考察

- 単にduが良く出てくるというだけでは焦点の機能を失ったとまでは言えないかもしれない。
- 他方言との比較・対照の必要がある。
- 1文中に2つ出てくるのは、異なる機能の2つのdu (du_1 と du_2)があるためかもしれない。
- 例えば、情報焦点を表す du_1 ととりたて(対比)を表す du_2 など。
- 複文、節で複数のduが出る傾向はCOJADSの談話でも確認できる。

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

50

5.1 duの変化の考察(2)

- (23) a. イてイてイ イシガ ダマニドゥ ブルた
ドゥ カマ ムヤシャンディ ンタルユンガラ。
行って (D:イシガ) (O:石垣)に(Z:AP)
いるうちに(Z:AP) あそこ[を] 燃やしたと
言ったから。
- b. 又ヌドゥ シミウルンディ ンディドゥ ムンガラ
布[を](Z:AP) 締めおろそうと いて(Z:AP)
P) (F:何やら)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

51

5.1 duの変化の考察(3)

- (23) c. ウンニドゥ ミグルユンガラ ヒコーキヤ
ンナーリ トウシドゥ ブンサイ
そのように(Z:AP) 回るので 飛行機は 見
えて ずっと(Z:AP) いるでしょう
- d. ヤ ウヌ ンニンたカ° ヒラヌンキ プリヤ
ドゥヤ ウマンキドゥ
ヤ その 船などが 行かないで いれば(Z:
AP) そこに(Z:AP)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

52

5.1 duの変化の考察(4)

- (23) e. ンドゥ ブール ドゥヌドゥ ンナリドゥ ブ
ルンディドゥ カンガイ ブル チディドゥ アルン
ディ ミャール カマディドゥ アガラシ ブカ°ド
- だから 全部 自分自身 見えて(Z:AP) い
ると(Z:AP) 考えて いる わけ(Z:AP) なんだよ
ずっと あそこから(Z:AP) 明るくて いるけれども
- f. マルンた スルムンタンキンディドゥ ア
イグンディドゥ アイてイてイドゥヨ
- 丸など ソロモンなどに(Z:AP) 航行すると
(Z:AP) 航行して(Z:AP)ね

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

53

5.1 duの変化の考察(5)

- 会話のため、単純に比較はできないかもしれないが、1文中に複数duが現れるのが確認できる。
- 『どうなんむぬい辞典』のduは、与那国方言の本来の特徴が出たものとする。
- baについては方言間で用法の差が大きいですが、石垣方言にも与那国方言と類似のbaがあり(宮城2003: 74)、格助詞から副助詞化したものか。
- 与那国方言のduとbaは現れる位置が異なるため、後者が前者をカバーしているわけではない。

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

54

5.2 Tiの変化の考察

- 石垣方言ツテ[ttɛ], 鳩間方言ティ[ti]など同源の形式は南琉球諸語に広く見られる。
- 基本的に、動作が順次進んでいく継起の意味で用いられるようである。
- 一方、「動作・状態が他のそれと並行することを表わ」したり、逆接や、形容詞の原因・理由の因果関係を表す用法もある(宮城2003, 加治工2020)
- 与那国方言のTiの意味は共通語のテ形と重なり、共通語の影響のようにも見える。

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

55

5.2 Tiの変化の考察(2)

- 一方で、与那国方言では連用形と中止形(接続形)が合流するなど、他方言とは異なる変化が起きている。

(書く)	連用形	中止形	継起形
伊良部	kafu, katsi	kattji	---
多良間	(kaki)	kaki:	kakitti:
石垣	kaki	kaki	kakitte
川平	kaki	kaki	kakijiti
与那国	kaTi	kaTi	kaTiTi

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

56

5.2 Tiの変化の考察(3)

- そのため、他方言の中止形(接続形)の機能を継起形が兼ねるようになった可能性がある。
- 意味変化(機能の拡張)と考えても不自然ではなく、現時点では共通語のテ形という外的要因か、内的な変化かは不明。
- (15)(例:ないてい=ぶん「なっている」)は稀な例で、(16)(例:はいてい=ひり「食べていけ」)から補助動詞構文として拡張が進みつつあるか。あるいは共通語の影響の可能性も。

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

57

5.3 係り結びの変化の考察

- 係り結びの反例が見られることは山田ほか(2013)にすでに指摘がある。
- しかし、『どうなんむぬい辞典』の例文による限り、変化の方向には偏りがあり、duがなくても連体形となる例の方が多い。
- (17m ,n)のように、duがない場合は係り結び形ではなく連体形になる(係り結び形はkirarunu, aranuruとなる)。
- なお、不可能形はウヌ ビク°イバガイドウ **ハニヌルンデ**(その クワズイモだけ[が](Z:AP) **食べられない**)のように-ninuruとなる。

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

58

6. まとめと課題

- まとめ
 - 『どうなんむぬい辞典』の例文から現代与那国方言に生じた変化が確認できた。
- 課題
 - 例文調査の限界
 - ✓細かい確認は面接調査が必要
 - 例文の信頼性・代表性
 - ✓話者が複数いることの弊害?

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

59

付記

- 本研究は次の研究成果の一部である:
 - 同「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」(代表:木部暢子)
 - JSPS若手研究「日本語諸方言の接触地域における系統関係の解明」(研究課題:21K12993)

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

60

参照・参考文献

- 池間苗(2003)『与那国語辞典』与那国町:私家本.
- 伊豆山敦子(2002)「琉球八重山(与那国)方言の文法基礎研究」『消滅に瀕した方言語法の緊急調査研究(2)』A4-012.99-135.
- 上野善道(2010a)「琉球与那国方言のアクセント資料(1)」『琉球の方言』34: 1-30.
- (2010b)「与那国方言のアクセントと世代間変化」『日本語研究の12章』: 504-516.
- 加治工真市(1984)「八重山方言概説」日野資純・飯豊毅一・佐藤亮一(編)『講座方言学10 沖縄・奄美地方の方言』289-361. 東京:国書刊行会.
- 高橋俊三(1992)「琉球列島の言語 V) 与那国方言」亀井孝・河野六郎・千野栄一・三根谷徹・北村甫・南不二男・風間喜代三・西田龍雄・上村幸雄・松本克己・土田滋・上野善道(編)『言語学大辞典 第4巻』873-882. 東京:三省堂.
- 渡久山春英, セリック・ケナン(2020)『南琉球宮古語多良間方言辞典』立川:国立国語研究所.
- 富浜定吉(2013)『宮古伊良部方言辞典』那覇:沖縄タイムス社.

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

61

参照・参考文献

- 日本語文法学会(編)(2014)『日本語文法事典』東京:大修館書店.
- 林由華(2020)「琉球諸方言における係り結び研究の展開」NINJALシンポジウム「係り結びと格の通方言的研究と通時的的研究」発表資料.
- 平山輝男・中本正智(1964)『琉球与那国方言の研究』東京:東京堂.
- 法政大学沖縄文化研究所(1987)『琉球の方言12(八重山・与那国島)』東京:法政大学沖縄文化研究所.
- 宮城信勇(2003)『石垣方言辞典』那覇:沖縄タイムス社.
- 山田真寛・ペラール, トマ・下地理則(2013)「ドゥナン(与那国)語の簡易文法と自然談話資料」田窪行則(編)『琉球諸語の言語と文化 その記録と継承』291-324. 東京:くろしお出版.
- 山田真寛(2016)「ドゥナン(与那国)語の動詞形態論」田窪行則・ホイットマン, ジョン・平子達也(編)『琉球諸語と古代日本語—日琉祖語の再建にむけて』259-289. 東京:くろしお出版.
- 与那国方言辞典編集委員会(編)(2021)『どうなんむぬい辞典 第2版』八重山郡与那国町:与那国町教育委員会.

中澤光平『どうなんむぬい辞典』に見られる現在の与那国方言の諸特徴

62